



大好きっ！ テント泊(はく)！



国立能登青少年交流の家

1 テントをたてる



①テント部品の確認

左: 骨
(長×2、短×1)
中: 本体
右: フライシート

②本体を広げる

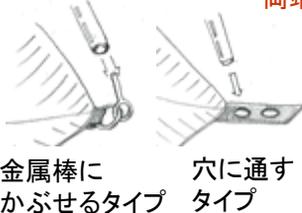


③本体に長い骨を2本通す



<骨の固定方法>

④長い骨の中央を曲げ、 両端を本体の角に固定する



金属棒に 穴に通す
かぶせるタイプ タイプ



⑥フライシートの天井部分に 短い骨を1本入れる



⑤本体に フライシートをかける ※本体とフライシート の出入り口を合わせる



※短い骨が入ってから、最後に角を本体に固定する→

完成

2 テント内の準備

(1) 銀マットと毛布を準備する

- ・管理棟倉庫にある
- ・銀マット→テントに3枚
- ・毛布→一人2枚
- ①銀マットを一番下にしく
- ②毛布を人数分しきつめる
- ③残りの毛布をかけて寝る

(2) その他

- ・荷物は、テント内の頭付近にそろえて置く
- ・荷物がテントの重石になる
- ・靴は、すのこの上、本体とフライシートの上に置く
※夜露や雨で濡れない
※雨天時は、レジ袋等に入れると、大変よい
- ・懐中電灯があると便利
- ・タオルをたたんで、まくらにするのもオススメ



3 テント等の片付け方(引率者・代表者は部品や装備がそろっているか確認する)

<晴天時(テント等が乾いている時)>

- ①テント本体から荷物とゴミを全て出す
- ②銀マットと毛布をたたみ、管理棟倉庫にしまう
- ③フライシートをはずす(この時に、たたんでもよい)
- ④本体をひっくり返して日光に当てる(下写真)



※本体の底が太陽に向くように干す
※朝食前にここまで行き、食事中にしっかり干しておく。

- ⑤本体とフライシート、骨を袋に入れ、管理棟倉庫にしまう
※本体等は長方形に整えてから、巻くとよい

<雨天時(テント等がぬれている時)>

- ①テント本体から荷物とゴミを全て出す
- ②銀マットと毛布をたたみ、管理棟倉庫にしまう
※ぬれている場合は、体育館通路に干す
- ③本体とフライシートを体育館通路に干す



できるだけ広げてロープにかけます。

- ④骨は、本数を確認してから、本体等が入っていた袋に入れ、管理棟倉庫にしまう

4 テントサイト確認(職員の点検)

・8時40分から、利用者と職員が立ち会って点検を行う

- ①使用したテントサイトに忘れ物やゴミが無いか確認する
- ②使用したテント用具などが返却されているか確認する
※雨天時は、体育館通路に干してあるか確認する
- ③キャンプサイトの設備等(右参照)の清掃がされているか確認する

その他

(1) キャンプサイトの設備等

- ・管理棟=講師室2つ、冷蔵庫1つ
内線電話
- ・管理棟倉庫=テント用品
冷蔵庫1つ
- ・トイレ=男女、自動点灯・消灯
- ・シャワー=男女6つずつ
※事前の申込が必要

◎上記設備等は、掃除を行う

(2) その他

- ・最終日の朝は、テント撤収、清掃を優先して行うため、FTに参加しなくてもよい
- ・テント泊の場合の入浴は、原則としてキャンプ場のシャワーを利用する
- ・悪天候等によって避難する場合は、原則として体育館や講堂を避難場所とする